

## 令和2年度補助金評価表（令和元年度交付分）

<b>事務事業名</b>	福岡県交通遺児を支える会補助金		
<b>担当所属</b>	危機管理課	<b>連絡先</b>	092-332-2110

## 【事務事業基本情報】

<b>区分</b>	⑤その他の事業補助（扶助的）		
<b>該当規等</b>	なし		
<b>基本目標</b>	基本目標4__快適に暮らすことができる安全・安心のまちづくり		
<b>政策</b>	政策6__防災・防犯体制の確立		
<b>施策</b>	施策⑭__警察、学校、地域などと連携して防犯・安全体制を確立する		
<b>補助期間</b>	令和2年度	まで	

## 【事業概要・指標】

事業概要	成果指標
<b>【目的】</b> 当該団体への補助を行うことで、当該団体が実施する福岡県内の交通事故被害者、遺族・遺児への援護と福利厚生活動の展開を支援する。	
<b>【対象事業】</b> 福岡県交通遺児を支える会が実施する事業の内、事業費贈与費にて実施された事業	
<b>【対象者】</b> 福岡県交通遺児を支える会	

## 【改革案】

<b>今後の実施方向性</b>	現状維持
交通事故被害者救済など犯罪被害者への支援は今後の行政の大きな課題。交通遺児を支える会は被害者に対するサポート活動を実践しており、市で対応できない部分を担っているため、公益上引き続き助成が必要。	

## 【指標の推移】

	単位	H31年度実績	目標値
成果指標	①		
	②		
	③		
	④		

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度決算	令和2年度予算
トータルコスト	円	85,000	85,000

## 【環境変化等】

<b>開始時の周辺環境・課題</b>	交通事故で両親を亡くした子どもたちへのサポートを充実させる必要があった。
<b>現状の周辺環境・課題</b>	交通事故死者数は減少傾向にあるものの未だ多くの人が被害にあっている。本市にも該当する家族がおり、当該団体を通じて奨学金やレクリエーションなど様々なサポートを行っている。
<b>今後の予想される周辺環境・課題</b>	交通死亡事故がなかなか無くならない中で、残された家族への支援活動を積極的に行う当団体へ助成は今後も必要である。
<b>市民及び議会等の意向・ニーズの変化等</b>	青少年の健全育成のために、交通遺児に対する心のケアや、経済面等の苦難を少しでも緩和できるような支援が期待されている。